

相模原音楽家連盟とは

1990年に設立。相模原市在住、出身、在勤のプロフェッショナルの音楽家たちによる活動組織。オーケストラ在籍者・フリー奏者・声楽家・ピアニスト・作曲家など約180名が加盟している。

Tomoko Kakuma 加久間 朋子

チェンバロ



洗足学園大学音楽学部卒業。ピアノを吉野弘子、大塚成子に、チェンバロを鍋島元子に師事。大学在学中より1974年創設「古楽研究会Origo et Practica」にてチェンバロ古楽奏法と通奏低音奏法の研鑽を積む。ミラノ音楽院でエミリア・ファディーニのマスタークラス修了。イタリア、ドイツでソロ公演。アンサンブル音楽三昧メンバーとしてアメリカ公演、CD7枚リリース。2008年CD『音楽三昧/バッハ』が第7回サライ大賞受賞。チェンバロデュオ「レ・キャトル・マン」メンバーとしてCD『バッハファミリーの鍵盤2重奏曲集』リリース。演奏活動と同時にレクチャーにも力を入れ、現在、解説付きの連続コンサートを銀座にて開催中。古楽研究会の代表を17年務める。日本チェンバロ協会運営委員。相模原音楽家連盟会員。南区在住。

Chie Hirai 平井 千絵

フォルテピアノ



桐朋学園大学卒業後、フォルテピアノとの運命的な出会いを経て、オランダ政府奨学生、文化庁在外研修員として渡蘭。2002年、オランダ王立音楽院古楽科修士課程を榮譽賞付き首席で卒業。在学中に、欧州での演奏活動を開始。各国の音楽祭に出演。オルフェオ・バロック・オーケストラ、セルクル・ドゥ・ラルモニーのソリストとして欧州ツアーに参加。ラジオ・フランス、オーストリア国営放送、NHKららクラシックなどメディア出演多数。CD録音は、チェロの鈴木秀美氏との『メンデルスゾーン作品集(06年文化庁芸術祭優秀賞受賞)』、『1840』など国内外で12枚をリリース。現在進行中の『Mozart Speaks』シリーズは、第1, 3, 4集がレコード芸術誌特選盤に、第2集が準特選盤に選ばれた。2001年、第38回ブルージュ国際コンクールフォルテピアノ部門第3位。2003年、IYAP国際コンクール第1位。2004年、第13回ファン・ヴァッセナール国際・室内楽コンクール第3位。東海大学音楽学課程非常勤講師。日本セヴラック協会会員。相模原音楽家連盟会員。南区在住。

Akira Harada 原田 陽

ヴァイオリン



東京都生まれ。13歳で渡米し、NYジュリアード音楽院より奨学金を受け、ドロシー・ディレイのもとで研鑽を積む。1999年に当時最年少でパリ国立高等音楽院大学院課程に入り、レジス・パスキエに師事。2003年、ザルツブルク及び東京にてピアニスト、イェルク・デームスと共演。このリサイタルでの演奏が高く評価され、2004年S&R財団よりワシントン賞受賞。現在、オーケストラ・リベラ・クラシカ、バッハ・コレギウム・ジャパンのメンバーとして主要公演&録音に参加。2015年、寺神戸亮氏率いるレ・ボレアードとモーツァルト協奏交響曲にて共演、ヴィオラソロを務める。横浜シティアンサンブル、カントゥス・エブリウスコンサートマスター。

楽器紹介

チェンバロ (ハーブシコード: 英)

弦を鳥の羽の軸や、皮などで弾きあげて音を出すチェンバロは16世紀中頃~18世紀に宮廷で愛された楽器です。形は国や時代によって様々ですが、徐々に音色の変化、音域の拡大などが付け加えられ、2段鍵盤が主流になっていきました。華やかな装飾がされているものも多く見受けられますが、バロック音楽以降は忘れ去られ、博物館の中などで出番を待つこととなります。



チェンバロ

フォルテピアノ

(現代ピアノとは区別してこう呼ばれる)

1700年頃イタリアの発明家クリストフォリによって作られたと言われ、チェンバロの中身を木製のハンマー(現代ピアノハンマーの1/10程の大きさ)で弦を打つ仕組みに変え、音に明確な強弱を付けることを可能にしました。この発明はバロック以後の音楽に大変好まれ、改良が加えられ、19世紀終わりには、ほぼ今日のピアノになっていきました。



フォルテピアノ

コンサートについて

16世紀中頃からバッハが活躍した時代までの「ルネサンス・バロック音楽」に使われていたチェンバロ。その後のモーツァルトをはじめとする「古典派」「ロマン派」が好んで使った、現在の「ピアノ」の前身であるフォルテピアノ。初期鍵盤楽器の音色や仕組み、音楽的な違いとは？お話を交えながら、時代と共に移り変わる音楽の流れをソロやデュエット、時にはヴァイオリンと共に楽しく！面白く！！知ることができる1時間のコンサートです。当日は当時のサロンのように、ステージの周りを囲む特別な客席にご案内します。より近くで、音だけでなく、見た目にも美しい楽器たちをお楽しみください。

会場情報・お問合せ

もみじホール城山

所在地：〒252-0105

神奈川県相模原市緑区久保沢2-26-2

TEL：042-783-5295

JR横浜線・相模線、京王相模原線の「橋本駅」からバス「三ヶ木」行きで「城山総合事務所入口」下車、徒歩10分

お車でご来場の方へ

駐車場の台数に限りがございますので、できる限り公共交通機関をご利用ください。

